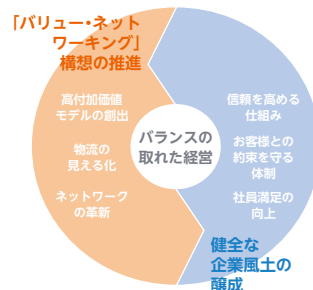


バランスの取れた経営の実現に向けて

ヤマトグループは、中期経営計画『DAN-TOTSU3か年計画STEP』の達成に向けて、「バリュー・ネットワーキング」構想の推進と健全な企業風土の醸成を基本戦略に、積極的な取組みを進めてきました。当第2四半期における活動についてご紹介します。



「バリュー・ネットワーキング」構想の推進

中部ゲートウェイ竣工

スピード輸送ネットワークと付加価値機能を一体化させる「止めない物流」を実現します。

ヤマトグループは、スピード輸送ネットワークとIT(情報)・LT(物流)・FT(金融)機能を融合させる「バリュー・ネットワーキング」構想を加速しています。2016年9月には、日本のものづくり産業の中核であり、日本の地理的中心に位置する中部に、最新鋭のマテハン設備*を備えた総合物流拠点「中部ゲートウェイ」を竣工しました。「厚木ゲートウェイ」「羽田クロノゲート」「沖縄サザンゲート」と連携し、スピード輸送ネットワーク

と付加価値機能を一体化させる「止めない物流」を実現します。

「中部ゲートウェイ」は、新東名高速道路(伊勢湾岸自動車道)豊田南ICに近く、名古屋港や中部国際空港セントレアにも好アクセスで、多様な輸送ニーズに対応できる立地にあります。また、「厚木ゲートウェイ」「羽田クロノゲート」との多頻度幹線輸送により、関東・中部間での宅急便の当日配達が可能になります。さらに2017年秋竣工予定の「関西ゲートウェイ」までつなげることで、宅急便の当日配達エリアが拡大します。マージ(集約)、キッティング(機器設定)といった高付加価値機能と、スピード輸送ネットワークを一体化させ、物流を「価値を生み出す手段」に進化させていきます。

*マテハン設備とは、マテリアルハンドリング設備の略称。物流業務を効率化するために用いられる作業設備。

中部ゲートウェイの特長

1 立地を活かしたスピード輸送

地理的に優れた日本の中心に位置し、関東・関西の各主要都市へのスピード輸送が可能です。



2 物流に高い付加価値を提供!!



クロスマージ
国内外から調達・納品される製品・部品等を納品先ごとにまとめて出荷



アッセンブル
製品化に向けた機器・商材の組み立て



キッティング
製品化に向けた機器設定作業



ローカライズ
外国製品を日本仕様に適合させる作業

3 最新マテハン設備導入により、大量の荷物を低負荷で効率よく仕分け

クロスベルトソータ
従来の2倍の処理能力と底面スライド方法により、より荷物に負荷をかけない仕分けを実現

フラットソータ
クロネコDM(便や宅急便小物(冊子形状))を自動で仕分け

スパイラルコンベア
上層階で加工した荷物を仕分けエリアに直結し時間を短縮、高品質化とスピードアップを実現

健全な企業風土の醸成

多摩ニュータウンの地域活性化に向けて、 くらしのサポートサービスの提供を 開始しました。

ヤマトグループは、健全な企業風土の醸成の一環として、CSV (Creating Shared Value=共有価値の創造) という概念に基づき、本業を通じて、より持続的な社会的価値を創造するための取組みを推進しています。これまで、お買い物サポートと見守りを組み合わせた「まごころ宅急便」や、過疎化や高齢化が進む中山間地域の路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」など、宅急便サービスの向上と持続可能な社会が相互につながる取組みを実施してきました。

近年、都市近郊部では、経年による生活者のライフステージの変化により、買い物や外出が困難になるといった問題が顕在化しています。そこで、2016年4月に、多摩ニュータウンにお住

ヤマトグループが提供するサービス

- 1 宅急便の受付、宅配ロッカーの設置、NPOや自治会との連携、市や地域の情報発信
- 2 自社の宅急便だけではなく他の宅配事業者の荷物も集約し一括してお届け
- 3 電話・Web・拠点で商品の注文を受け付け、購入品を店舗から集荷、仕分けし、ご自宅までお届け
- 4 地域の小売店からご自宅まで購入品を当日中にお届け
- 5 掃除や電球交換、家具の組み立てなどの家事サポートサービスの提供、居住者の見守り支援
- 6 拠点の受付や一括配送のスタッフとして、多摩エリアに居住している方々を積極的に採用

まいの方々の生活をより豊かにするくらしのサポートサービスを開始しました。都市部における地域活性化の新たなモデルケース作りを目指して、ヤマトグループは、多摩市、独立行政法人都市再生機構とともに官民連携の取組みを進めていきます。

くらしのサポートサービスの仕組み

